

江田島市教育委員会会議録

令和6年8月19日(月) 令和6年第10回教育委員会会議定例会を能美市民センター2階会議室において開催しました。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後 10時30分
閉会 午後 12時00分

2 出席者 (5名)

教育長	岡田 學
教育長職務代理者	三島 雅司
委員	小宇根 康典
委員	長坂 睦子
委員	長迫 香

3 欠席者

なし

4 出席説明員

教育部長	矢野 圭一
学校教育課長	黒小 大介
生涯学習課長	大野 真理
学校給食共同調理場総括場長	仁井 雄一
大柿自然環境体験学習交流館長	西原 直久

5 事務局

学校教育課 課長補佐兼総務係長	濱中 健三
学校教育課 主任指導主事	尾崎 弓枝

6 傍聴人

5名

7 議事日程

- (1) 教育長報告
- (2) 会議録署名委員の指名
- (3) 議案第29号 令和7年度使用教科用図書(中学校)の採択について
- (4) 議案第30号 令和7年度使用教科用図書(小・中学校特別支援学級)の採択について

て

- (5) 議案第31号 江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案について
- (6) 議案第32号 江田島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について
- (7) 議案第33号 江田島市教育委員会の事務局の組織に関する規則等の一部を改正する等の規則案について
- (8) 議案第34号 江田島市人権教育推進会議設置要綱及び江田島市教育関係施設使用料の減免に関する要綱の一部を改正する告示案について
- (9) 議案第35号 江田島市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する訓令案について
- (10) 承認第13号 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事について
- (11) 報告第1号 学校施設環境改善交付金（LED改修等）について

8 議事の概要

○ 教育長

ただいまから、令和6年第10回江田島市教育委員会会議、定例会を開会します。

ただ今の出席委員は5名です。定足数（3名）に達していますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

○ 教育長

審議に入る前に、非公開議案について御審議いただきます。

日程第4、議案第30号については、本市の小・中学校が、いずれも小規模であることから、個人が特定されるおそれがあること、日程第5、議案第31号及び日程第6、議案第32号については、令和6年第3回江田島市議会（9月定例会）に提出予定の、成案となる前の案件であること、日程第7、議案第33号から日程第9、議案第35号までについては、先ほど説明しました、議案第31号、32号に関連する内容の規則、要綱等の改正であること、日程第10、承認第13号については、人事に関する案件であること、日程第11、報告第1号については、8月23日に開催される、市議会全員協議会に提出予定の案件であることから、ただ今、説明しました、8件の議案等については、公開しないで審議することが適当ではないかと考えますが、いかがでしょうか。

（異議なし）

○ 教育長

それでは、お諮りいたします。

議案第30号から議案第35号まで及び承認第13号並びに報告第1号については、

公開しないことに賛成の方の挙手をお願いします。

(挙手全員)

○ 教育長

挙手全員と認めます。

したがって、議案第30号から議案第35号まで及び承認第13号並びに報告第1号については、公開しないで審議することに決定しました。

○ 教育長

日程第1、「教育長報告」を行います。

議案書、2ページをお開きください。

「教育長報告」を行います。

(省 略)

以上で、教育長報告を終わります。

○ 教育長

日程第2、「会議録署名委員の指名」は、会議規則第15条第2項の規定により、あらかじめ署名委員の順番を決めておりますので、今回は、小宇根委員をお願いします。

○ 教育長

日程第3、議案第29号「令和7年度使用教科用図書（中学校）の採択について」を議題とします。

事務局から、説明をお願いします。

○ 教育部長

ただ今上程されました議案第29号について説明します。

議案書、3ページをお願いします。

提案理由です。

令和7年度に中学校で使用する教科用図書を採択する必要がありますので、江田島市教育長に対する事務委任規則（平成16年江田島市教育委員会規則第4号）第2条第9号の規定によりまして、委員会の議決を求めるものです。

内容については、学校教育課長から説明します。

○ 学校教育課長

それでは、議案第29号について説明します。

まず、教科用図書の採択については、前回の教育委員会会議で説明いたしましたが、

調査員が教科部会に分かれ、すべての教科用図書について調査研究を行いました。

調査員は、調査研究の結果をまとめた資料を作成しました。

続いて、選定委員会は、8月7日（水）に開催されました。

選定委員会では、調査員が作成した「調査研究報告書」をもとに、各教科部会の代表者が説明し、質疑を行いました。その後、選定委員による審議をいたしました。その審議結果を選定委員会が答申としてまとめ、江田島市教育委員会へ8月9日（金）に提出されました。

それが、本日、議案29号の付属資料として別紙配付しております「令和7年度に市立中学校で使用する教科用図書の選定について（答申）」でございます。

元の資料にお戻りください。選定委員会における審議の結果、4ページに示しておりますように「令和7年度に市立中学校で使用する教科用図書の選定結果一覧」の発行者の教科用図書が選定されました。

それでは、種目ごとに選定理由について説明いたします。

選定理由につきましては、議案29号付属資料として別紙配付しております「令和7年度に市立中学校で使用する教科用図書の選定について（答申）」で説明させていただきますので、答申の1ページ目をお開きください。

こちらには、令和7年度に市立中学校で使用する教科用図書の選定結果の一覧を掲載しております。

続いて、2ページをお開きください。

ここからは、令和7年度に市立中学校で使用する教科用図書の選定結果を掲載しております。

続いて、7ページを御覧ください。ここからは、各教科の選定結果資料として、発行者別に主な特徴を掲載しております。

それでは、2ページお戻りください。

国語から説明させていただきます。

4つの発行者のうち、選定委員会では光村図書出版株式会社、これを「光村」として示しておりますが、「光村」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明します。

1つ目の○をご覧ください。

情報の扱い方に関する事項については、各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報×SDGs」を設定し、教材を1つは掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「書くこと」の活動に関する教材を掲載しており、社会の問題を自分のこととして捉え、解決する力を育む工夫がみられるという点です。

実際の教科書で説明させていただきます。お手元においております光村の「国語3」の76ページをお開きください。「実用的な文章を読もう」として、行政機関から出された、ごみの分別に関するウェブページやポスターの資料といった、日常生活でよく見る文章の例を用いて、情報の読み取り方について考えさせるようにしています。

また、次の78ページからは、同じ世界自然遺産を取り扱った二つの報道機関の記事を掲載し、それぞれの報道スタンスについて読み比べる学習材を掲載しています。さらに、84ページをご覧ください。ここには「情報整理のレッスン 情報の信頼性」を掲載し、情報を吟味するポイントについて学ぶ展開としております。また、52ページをお開きください。「思考のレッスン」とし、具体と抽象の関係について図を用いてわかりやすく説明するとともに、学びを活かして書く内容を掲載しています。

これらの内容が充実しているとの理由により、「光村」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、書写でございます。

4つの発行者のうち、教育出版株式会社、「教出」の教科書を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点目に示しておりますことについて説明させていただきます。

1つ目の○を御覧ください。

目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫については、「目標」では、「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」と示すとともに、学習活動や日常生活の中で、場面に応じた書き方をするにはどのような点に注意するといよいか、話し合うようにしており、日常生活に生きてはたらく力を身に付けることができるという点に特徴があります。

実際の教科書で説明させていただきます。お手元においております教出の「中学書写」86ページをお開きください。「さまざまな書く場面」の単元では、目標を「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」として示すとともに、話し合いの観点を「何のために」とか「誰に向けて」などいくつか示しています。また、楷書や行書が使われている場面の写真を複数掲載し、それぞれにどんな点に注意するか考えさせる構成としております。また、右下には、話し合いに関するワークシートを閲覧できる二次元コードが示されています。

これらの特徴的な理由により、「教出」が最もふさわしいものとして選定されました。

続いて、社会の地理的分野でございます。

4つの発行者のうち、選定委員会では東京書籍株式会社、「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明します。

2つ目の○を御覧ください。

見方・考え方を働かせるための工夫については、編や章の導入に「地理のミカタ」として、「見方・考え方」を示し、思考ツールを活用して学習をまとめる等、地理的な見方・考え方を働かせた学習が展開できる。という点です。

実際の教科書で説明させていただきます。

お手元においております東京書籍「新しい社会 地理」の59ページをお開きください。このページは、第2章、「世界の諸地域」の導入ページです。右下のピンクの枠に、「地理のミカタ」として、「場所」「人と自然とのかかわり」「結び付き」に注目して学

習を進めるよう示しています。

また、127ページをお開きください。各社とも、各章末や各単元末にまとめのページがあるのですが、とりわけ東書では、思考ツールを用いてまとめる方法や探究課題に取り組むうえでの視点やヒントを示しています。ここでは、南アメリカ州の開発と環境保全に迫る工夫として、フィッシュボーンという魚の骨のような形をした思考ツールを示しています。これが「東書」の特徴となります。

これらの理由により、「東書」が最もふさわしいものとして選定されました。

続いて、社会の歴史的分野でございます。

9つの発行者のうち、選定委員会では「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち2点について説明します。

1つ目の○を御覧ください。

学習のまとめの工夫については、「中世の日本」の単元において、探究課題について章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる活動を設定しているという点です。

これは、「中世の日本」の単元のみならず、どの単元末でも同じような工夫がみられます。

実際の教科書で説明させていただきます。

お手元においております東京書籍「新しい社会 歴史」の94、95ページをお開きください。右上に探究課題として、「武士が生まれ、その支配が広がった中世の日本で、社会はどのように変化したのでしょうか。」という章の学習を振り返る課題が改めて示されています。また、それぞれのページの下部に、自分の考えを文章にまとめる問いが示されています。

続いて、選定理由の2つ目の○を御覧ください。

単元の導入における工夫としては、「近世の日本」の単元において、2ページを使い、二次元コード、小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表、キャラクターの問い等や、資料の読み取り及び話し合い活動を示している。という点も理由として挙げられています。「近世の日本」の単元のみならず、どの単元の導入部でも同じような工夫がみられます。

教科書98、99ページをお開きください。

近世の日本の導入のページですが、絵図がふんだんに掲載されていることに加え、98ページ上部には二次元コードが示され、興味関心を高めさせる動画につながるよう工夫されています。また、99ページには、歴史上の人物のキャラクターを用いた年表を示すとともに、章全体の探究課題や各節における課題を示しています。

これらの特徴的な理由により、「東書」が最もふさわしいものとして選定されました。

続いて、社会の公民的分野でございます。

6つの発行者のうち、選定委員会では「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明します。

3つ目の○を御覧ください。

社会参画への意識を高める工夫としては、「現代の民主政治と社会」の章末において

2ページを使い、「S市の議員になって条例を作ろう」という学習課題を設定しているという点です。

実際の教科書で説明させていただきます。

お手元においております東京書籍「新しい社会 公民」の124、125ページをお開きください。

ここでは、「現代の民主政治と社会」の章末において2ページを使い、「S市の議員になって条例を作ろう」という学習課題を設定している。「ここまでの政治についての学習を生かし、あなたがS市の議員になったつもりで、まちをより活性化させるために、地方公共団体の法である「条例」の案を作って、議会に提出しましょう。」という具体的な課題を示し、学習活動を設定しています。

他の会社もこういった社会参画の意識を高める学習課題は設定されておりますが、東書のこのページでは、課題の選択肢やステップチャートによる考察の仕方の例などが丁寧に示されています。

これらの特徴的な理由により、「東書」が最もふさわしいものとして選定されました。

続いて、地図でございます。

2つの発行者のうち、選定委員会では帝国書院「帝国」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち2つ目に示しております点について説明します。

思考力、判断力、表現力等を育む工夫としては、歴史、公民、SDGsとの関連を示すアイコンや「防災」「環境」「日本との結びつき」コーナーを設けている。

また、ページ全体に関わる主題を示す「主題学習」のコーナーを設けているという点です。

実際の地図帳で説明させていただきます。お手元においております「帝国」の「中学校社会科地図」の155ページをお開きください。

帝国には、ページ全体に関わる主題を問いの形で示す「主題学習」のコーナーが設けられています。ここでは、「日本の地形には、どのような特徴があるのだろうか。」となっています。また、156ページには上部にSDGs関連のアイコンが示されています。

また、加えての説明となりますが、181ページをお開きください。こちらは日本の統計資料ですが、面積、人口、人口密度が、帝国の教科書は、2022年の数値となっています。一方、東書は2021年の数値となっていました。

これらの理由により、「帝国」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて数学でございます。

7つの発行者のうち、選定委員会では「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち2点について説明します。

1つ目の○を御覧ください。

知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章のはじめに章の学習内容につながる問いかけとともに、学習を通して身に付ける力を示しているため、見通しをもって学習することができるという

点です。

実際の教科書で説明させていただきます。お手元においております東書の「新しい数学1」で説明します。

まず、63ページをお開きください。

先ほど、2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入においては言いましたが、どの学年のどの章においても章のはじめに、御覧いただいているように、章の学習内容につながる問いかけとともに、学習を通して身に付ける力を示しています。

続いて、2つ目の○を御覧ください。

興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、サッカーチームの記録等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されており、主体的に学習に取り組ませる工夫がみられる。という点です。

226ページをお開きください。ここに示されているように、サッカーにおける数年前と現在のチームの違いを、走力や瞬発力のデータを基に、分析するような、生徒にとって身近に感じられる題材を示しています。

他の教科書会社でも同様に生徒の興味や関心を引きそうな題材は設定されているのですが、「東書」の場合は、他の領域も含め、生活に密着した問題が多く、生徒が興味をもって主体的に学習に取り組みやすいと考えられます。

これらの特色を踏まえ、総合的に判断した結果、「東書」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、理科でございます。

5つの発行者のうち、選定委員会では「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち2点について説明します。

1つ目の○を御覧ください。

知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫については、補充的な学習として、単元の中に「これまでに学んだこと」を設定している。また、単元末に「確かめ問題」「活用問題」を設定しており、知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫がみられるという点です。

実際の教科書を使って説明させていただきます。東書の「新しい科学2」の14ページをお開きください。

各単元の導入部分では、このように、「これまでに学んだこと」というコーナーが設けられています。

続いて、82ページをお開きください。単元末のページですが、ここには「確かめ問題」、続く84ページには、「活用問題」が設定されており、知識や概念の定着を図り、理解を深めるための問題が充実しております。

続いて、選定理由の2つ目の○を御覧ください。

各学年の巻頭に「探究」の流れを確認しよう」として探究の過程を示しており、科学的に探究する力の育成を図る工夫がみられるという点です。

3ページを御覧ください。

巻頭のページですが、ここには、「探究」の流れを確認しよう」として探究の流れを丁寧に示しており、科学的に探究する力の育成を図る工夫がみられます。

とりわけ探究の最後の過程、8のところでは、考察して結論を導いて終わらず、次の学びにつながる気づきや新たな疑問を引き出そうとする工夫がみられました。

これらの特色を踏まえ、総合的に判断した結果、「東書」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、音楽一般でございます。

2つの発行者のうち、選定委員会では株式会社教育芸術社、「教芸」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明させていただきます。

3つ目の○を御覧ください。

この項目は、楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用についての調査項目ですが、第2・3学年「花」において、二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページにアクセスできる。また、パート別とカラピアノの音源を掲載しているページにアクセスできるため、個別最適な学びと協働的な学びに生かすことができるという点が挙げられています。

実際の教科書で説明させていただきます。

教芸の「中学校音楽2・3年下 音楽のおくりもの」の12ページをお開きください。

どちらの発行者もデジタルコンテンツとして二次元コードを掲載しているのですが、とりわけ教芸は、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているだけでなく、パート別の音源やカラピアノの音源を掲載したページ、組歌「四季」についての説明とそれぞれの旋律の一部の音源を掲載しているページにアクセスすることができるため、個別最適な学びや深い学びにつながります。

これらの理由により、「教芸」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、音楽器楽合奏でございます。

これにつきましても、2つの発行者のうち、選定委員会では、「教芸」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明させていただきます。1つ目の○を御覧ください。

器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫については、リコーダーの奏法、身体の使い方に関する記載において、姿勢と構え方の写真を真正面と真横から撮影し掲載しており、表現活動をするための技能を習得するための工夫がみられるという点です。

実際の教科書で説明させていただきます。

教芸の「中学生の器楽」の12ページをお開きください。

「教芸」は、姿勢と構え方について、真正面と真横の2方向から撮影されているため、演奏姿勢が分かりやすくなっています。

これに関して、もう一方の「教出」の方の教科書には、斜め前からの写真のみとなっ

ておりました。

これらの理由により、「教芸」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、美術でございます。2つの発行者のうち、選定委員会では「光村」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明させていただきます。

3つ目の○を御覧ください。

鑑賞において、作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、紙質とページの大きさを変えたりして示しており、興味・関心を高める工夫がみられる。という点です。

実際の教科書で説明させていただきます。「光村」の「光村2・3」の60ページをお開きください。

これは、ピカソのゲルニカのページですが、この作品は、折り曲げの大型図版で掲載しております。こういうページが「光村」は充実しております。

また、27ページをお開きください。ここは日本の絵画を楽しむというページですが、触っていただきますと、紙質が違い、和紙のような感じとなっていることがわかると思います。こういった工夫が「光村」の特徴であり、生徒の興味・関心がわく工夫がされております。その他にも「光村」は、3年間使用できる資料が別冊になっており、生徒が作品制作に活用しやすくなっております。

これらの理由により、「光村」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、保健体育でございます。

4つの発行者のうち、選定委員会では「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明させていただきます。

1つ目の○をご覧ください。

思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫については、「○？」として、思考するための発問を設定するとともに、「活用する」として、習得した知識及び技能を活用し、思考する活動を設定しているため、学習内容を広げたり深めたりすることができるという点です。

実際の教科書で説明させていただきます。

「東書」の「新しい保健体育」の16、17ページをお開きください。

「運動と健康」のページですが、例えば、16ページでは、思考するための発問として「あなたは運動をしたときに、体や心に、どのような変化を感じますか」といった発問や、17ページには、「日本人の1週間の運動日数を調べてみましょう」という発問が示されています。また、17ページの下部に「活用する」として、「資料6を参考に、AさんBさんがそれぞれの年齢や生活環境に応じた適度な運動習慣を身につけるための工夫について話し合しましょう。」と、思考する問いを示しています。

また、学習課題も明確であり、一つにまとめられているのも特徴です。

これらの理由により、「東書」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、技術・家庭（技術分野）でございます。

3つの発行者のうち、選定委員会では「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明させていただきます。

3つ目の○をご覧ください。

中学校の各教科等の学習内容との関連として、28か所「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。また、小学校の各教科等の学習内容との関連については、5か所「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している等、各教科等と関連させて学習を進める多くの工夫がみられる。という点です。

実際の教科書で説明させていただきます。「東書」の「新しい技術・家庭 技術分野」の140ページをご覧ください。この「発電の仕組みと特徴」のページですが、ここには、リンクマークを用いて、小学校理科6年「電気の利用」、他教科 理科2年「電磁誘導と発電」と示されています。こういった他教科や小学校の学習との関連が充実しているのが「東書」の特徴の一つです。

これらの理由により、「東書」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、技術・家庭（家庭分野）でございます。

3つの発行者のうち、選定委員会では「東書」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち1点について説明させていただきます。

1つ目の○をご覧ください。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、各内容とも、項目ごとに見出しの下に「目標」を1つまたは2つ示している。「キーワード」マークをつけ、関連する語句を示している。基礎的な用語のうち、重要な語句は本文と異なる書体を用いた太字で表記している。という点です。

実際の教科書で説明させていただきます。「東書」の「新しい技術・家庭 家庭分野」の118ページをご覧ください。このページは、「衣服の役割」についての学習ページですが、まず見出しの下に、目標として「衣服の社会生活上の働きについて理解できる」と示されています。また、重要な語句については、本文中に太字で示すとともに、ページの上部になりますが、キーワードとして、「社会生活上の働き」「TPO」と示されています。

続けて、117ページをお開きください。

選定理由の2つ目に関わることですが、ページの下部に、課題設定の記入欄を設け、自分の知りたいことやできるようになりたいことを記入することで、生活の課題と実践へとつなげているのも「東書」の特徴です。

これらの理由により、「東書」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて、英語でございます。

6つの発行者のうち、選定委員会では「光村」を選定しております。

選定理由としましては、大きく3点ございますが、そのうち、2点について説明させていただきます。

1つ目の○をご覧ください。

Part 1、2、3それぞれ Listen→Speak→Write の流れで新出文法を設定しており、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫がみられるという点です。

実際の教科書で説明させていただきます。

「光村」の「Here we go」の10ページをご覧ください。

左上上部にイヤホンと本のマークがあり、Listen and Read と書かれています。

まずは、聞いて読むという学習活動になっています。続く11ページ、この上部には、イヤホンマークがあり、Listen と書かれており、聞く活動になっています。

ここまでは、いわば、インプットの活動です。そして、続いて、ページの中段には、マイクのマークで、Speak と書かれており、自分から話す活動が仕込まれています。そして、その下には、鉛筆のマークで、Write と書かれており、自分で話したことを元にして書く活動が仕込まれています。これらは、アウトプットの活動です。この構成は、次の12ページ、そして続く14ページでも同じような構成となっています。このように、光村の教科書は、Listen and Read、Listen、Speak、Write の活動があり、インプットと小さなアウトプットを繰り返しながら、新出文法を習得していく流れを作っているのが特徴です。

2つ目の○をご覧ください。

単元における言語活動の工夫については、Unit の最後の Goal において、Unit で学習した言語材料を用いて話すこと・書くことを設定しているという点です。

教科書16ページをご覧ください。このページは、ユニット1の Goal のページですが、ジャイアントパンダの記事を読み、自分が感心したことや驚いたことについてコメントをするという課題が設定されています。

ここでも、まずは、Read、そして Speak と、段階を追って伝えあうアウトプットの場面を設定しています。

このように、自らの考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を設定し、思考力や表現力等を育成できるように構成しています。

これらの理由を総合的に判断した結果、「光村」が最もふさわしいとして選定されました。

続いて道徳でございます。

7つの発行者のうち、選定委員会では日本文教出版、「日文」を選定しております。

選定理由としましては、大きく4点ございますが、そのうち、2点について説明させていただきます。

1つ目の○をご覧ください。

道徳科の学び方等の示し方については、「道徳科での学びを始めよう！」において、1ページに、道徳科についてイラストや吹き出しを使い、学習の流れ等を「①気づく」

「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つで示しており、学習計画や見通しが立てやすいという点です。

実際の教科書で説明させていただきます。

日文の教科書「明日を生きる①」の4ページをお開きください。

まず、このページでは、道徳科ではどんなことをするのか、イラストと吹き出しを使いながら会話形式で示しています。また、続く5ページでは、学び方について、教科書のページと照らし合わせながら、①気づく、②考える議論する・深める、③見つめる・生かすというステップを示しています。さらに、別冊「道徳ノート」を使って自分の考えをまとめることも示しており、学習の見通しが持てるよう、工夫されています。

続いて、4つめの○を御覧ください。

現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、いじめを扱った教材とコラムをユニット化し、年間で複数配置している。いじめを扱う最初のユニットに、扉ページ「いじめと向き合う」を設定し、巻頭において、「いじめと向き合う」をテーマとした教材を示し、いじめ問題等について繰り返し、深く考えさせる工夫がみられるという点です。

教科書の2ページの目次を御覧ください。

オレンジ色で「いじめと向き合う」として、年間に複数配置するとともに、教材とコラムで学びを重なるようにしています。

30ページをお開きください。

ここでは「5 さかなのなみだ」という教材が掲載されています。そして、続く35ページには、「いじめって何？」というコラムがあります。

日文は、いじめの定義についても触れるなどの工夫も見られます。

これらの理由により、「日文」が最もふさわしいとして選定されました。

以上、各種目の選定結果と選定理由について説明いたしました。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○ 教育長

説明が終わりました。

質疑はございませんか。

○ 長坂委員

前回の選定結果と異なる発行者のものはありますか。

○ 学校教育課長

前回の選定結果と異なるものについては、保健体育が変わっております。

保健体育が、「大日本図書」から「東京書籍」になっております。

その理由としましては、先ほどの保健体育のところでも申しましたように、思考させる発問の設定や、学習課題の明確さなどが選定理由として挙げられています。

- 長坂委員
保健体育以外の教科は、教科書会社が変わっていないが、あまり変更がなかった理由は何かありますか。

- 学校教育課長
昨年度、小学校が4教科代わったことに比べると、中学校はあまり大きな変化はありませんでした。ただ、どの教科においても、観点に基づいて調査し、江田島市の子どもたちにとってよりよいものを選択した結果であると考えています。
学習指導要領の改訂のタイミングで言うと、今回は中間にあたるというところも理由としてはあるかと思えます。

- 小宇根委員
社会科は、地理、歴史、公民ともに、東京書籍となっているが、これは全て同じ会社でないといけないといったルールがあるのですか。
もしなければ、何か傾向があるのか、それともたまたま個別に選んでこうなったのですか。

- 学校教育課長
社会科は、地理、歴史、公民とありますけども、これは、一緒ではなくても、別々でも構いません。
今回の調査の結果、江田島市の子どもたちにとってふさわしいと判断されたのが、地理、歴史、公民とも「東京書籍」となりました。
それぞれに特徴がありまして、先ほど説明をさせていただきましたが、地理の方で言えば、思考ツールの活用であるとか、歴史で言えば端末の対応、二次元コードの活用、それから公民では身近な題材ということで、それぞれの特徴があり、それぞれに判断した結果、今回は「東書」が選定されました。

- 長坂委員
歴史には、広島に関わるものもあると思いますが、どのようなものが掲載されていますか。

- 学校教育課長
歴史の広島の取扱いというところに関しては、調査項目にはないんですが、当然、どの教科書会社も広島の原爆などは取り扱っています。
「東書」の教科書で言えば、例えば、歴史の46ページに遣唐使船が、これは倉橋のことになりますが、遣唐使船が実際に走っているような写真があります。
69ページには、厳島神社が載っています。
そのほかにも広島に関わるものが載っております。

○ 三島委員

今回の教科書には、多様性の考えの記述が増えていると新聞等に掲載されていたが、内容とか、それをどういうふうにかどもたちにつなげていくのですか。

○ 学校教育課長

多様性についての記述ということですが、例えば、保健体育、表紙なども今回は車椅子の方が登場したりだとか、様々なそういった多様な方々に配慮するようなものを掲載しております。

写真やイラストに登場する人物とかも、性別による偏りがないように配慮されていたり、成長の個人差とか共生のことについても、書かれています。

道徳では、自立と共生というところを見ていただきますと、76ページ、「互いを認め合うために」ということで、多様性について考えようというようなページがあります。

自分の多様性を受け入れるとか、性の多様性、こういった本質的な課題について学習するページというのを様々な教科で設けています。

○ 三島委員

全国学力学習状況調査で、江田島市はかなり低かったですが、学力の向上ということで、選定委員会などで話し合われて教科書を選定したというようなことはありますか。

○ 学校教育課長

全国学力学習状況調査結果の公表時期は、教科書の選定のときとは、ちょっとずれてきますので、学力が今回江田島市の結果を見てということの特にはしていません。

ですが、例えば、数学は選定委員会では東書の教科書を選定していく中で、見やすいとか、内容の構成も理解しやすく、先ほども申しましたが、生活と密着しているという、そういった点が、こどもたちが興味・関心を持って取り組みやすいという声もありました。

あとは、経験年数の少ない先生でも、単元の最初に身につけさせたい力が示してあることで教えやすい、そういった点が手助けになるのではないかと、振り返りの視点であるとかそういったところも明確であるということで選ばれています。

調査項目に直接あるわけではないですが、そういった点もこどもたちにとってより分かりやすいということで、選定をされています。

○ 長迫委員

江田島市のこどもたちにとってよりふさわしい、他の地域の委員とかもおられてかと思いますが、江田島市のこどもたちにとってのよりの部分は具体的にはどのようなことがありますか。

○ 学校教育課長

選定委員会では、問題のコンテンツの数であるとかそういったところよりも、やはりしっかり目標が示してあるとか、振り返りの視点が明確であるとか、二次元コードを活用した支援であるとか、そういった自分で学びを進めていくときにもより進めやすいものというところの意見もありました。

あとは、見やすいというところを数学の先生などは言うておられましたが、ページを開いたときに変にごちゃごちゃせず、分かり易いものがふさわしいのではないかといった意見も出ておりました。

○ 小宇根委員

選定理由を伺って、どの教科書会社も基本的に大きな優劣というのはあまり見受けられなかったのかと思います。

細かいところまでしっかり見ていただいて、その結果の選定であったというふうに感じました。

そこで、江田島市教育委員会の経営方針は「主体的・対話的で深い学び」であったと思います。その実現に向けて協働的な学び、個別最適な学びに各学校が一生懸命取り組んでおられるというふうに思っております。

今回の教科書選定において、そういう視点ではしっかり見られたのか、検討されたのかお聞きしたい。

選定委員の意見の中にそういった文言がちらほら見受けられるんですが、そこらへんがどうだったのか教えてください。

○ 学校教育課長

教科用図書の選定に係る調査項目は、どの教科書においても主体的に学習に取り組むという観点は作られております。

その観点にそって調査をしています。

国語では主体的な学習に取り組む工夫として、調査員の方は自らが学び、自らが考える力の育成を図る工夫がなされているか。

例えば、生徒の興味関心をひくような工夫とか課題発見、解決学習につながるような工夫とか、問題解決的な学習をするよう工夫であるとか、見通しを立てて学習するための構成の工夫というようなどを調査はしております。

これらの点に関しては、他の教科書会社も学習の流れというのを示して、振り返りの視点などを示すという工夫はしておられます。

その中でも、今回選定された光村図書に関しては、選定理由の3つ目にも書かれておりますが、見通しを立てて学習するための構成上の工夫については、第3学年の「書くこと」の単元において、学習の流れを①題材を選ぶ②観点を決めて分析する③構成を考える④批評文を書く⑤友達と文章を読み合う、振り返ると示しているため、主体的に学習に取り組むことができるというふうに、そういった方法が詳しくしめされている。

こういった点からも、「主体的・対話的で深い学び」、特に主体的な学びというところの実現に向けて適しているというふうに判断されて、選定されています。

どの教科書についても、そういった視点を考慮しながら選定された結果です。

○ 教育長

それでは、これで、本件の審議を終わります。

採決に移ります。

本案は、原案のとおり決定することに、御異議ございませんか。

(異議なし)

○ 教育長

異議なしと認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

(傍聴人退席)

○ 教育長

日程第4、議案第30号「令和7年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級）の採択について」を議題とします。

(非公開)

○ 教育長

日程第5、議案第31号「江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案について」から日程第9、議案第35号「江田島市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する訓令」までの5議案については、関連がありますので、一括議題、個別採決とします。

(非公開)

○ 教育長

日程第10、承認第13号「教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事について」を議題とします。

(非公開)

○ 教育長

日程第11、報告第1号「学校施設環境改善交付金（LED改修等）について」を議題とします。

(非公開)

○ 教育長

以上で、本日の会議に付された審議事項は、全て終了いたしました。

次回の教育委員会会議は、9月17日（火）、午前10時00分から、市教委会議室で開催を予定しています。

他になれば、これで閉会します。

江田島市教育委員会会議規則の規定により、ここに署名する。

江田島市教育長

署 名 委 員